

**問** 期に事業が完了するよう要望してまいります。

**答** 改修予定地の川辺林保全地区は稀少植物に配慮しながらの改修なのででしょうか。

**問** 川辺林保全地区は、稀少植物に配慮した整備が計画されております。

**問** 「北川ダム検討の場」に出された意見に対し、県が誠意ある対応をするよう市がその役割を。

**答** 出された意見は内容を検討するとともに、今後も、意見が尊重されるよう調整してまいります。

**問** 市の果たす水防の情報共有、緊急伝達や要望窓口を、市土木とともに身近な支所にも役割を。

**答** 水害に対しては、土木防災情報システムにより情報収集を図るとともに、各支所との連絡を密にするなど体制整備を図ってまいります。

**問** 老朽原発の延長は、立地と隣接自治体の住民合意を前提に

**問** 運転中の福井原発6基は、今後順次30年を経る。立地自治体と同様に、住民の合意がない限り電力事業者の延長申請を認めない隣接高島市の意思を表すべきでは。

**答** 防災監 30年を経た原発は「高経年化対策」により安全性が維持されていますが、更なる安全確保を要望してまいります。

**問** 市の原子力防災計画の抜本見直しに当たり、水道危機管理で放射能汚染防止対策と原発事故有事に備えた対策と改修計画を、耐震補強改修と同時に進めるべきでは。

**答** 水道については、国の技術的助言を基に対策を考えてまいります。

**問** 最近、福島原発被災地からレスキューされた多くの犬が4段階積みのゲージの中で暮らしています。敷地内の2棟の2階建て建物に被災ペットを多数飼育している頭数と現況について問います。

**答** 市民環境部長 6月8日に、滋賀県動物管理センターと市職員により、自己所有犬85頭・福島県から搬入された犬70頭の計155頭を確認しています。飼育状況については、滋賀県動物管理センターからの指摘事項はありませんでした。

**問** 災害時の緊急輸送に国道マキノ、敦賀の間にトンネル！琵琶湖若狭湾快速鉄道の早期実現について

**答** 石田 哲 議員 快速鉄道の実現化につきましては、事業主体の明確化や財源の見通し等の課題があり、さらに慎重に議論を重ねてまいります。

**問** 今年の雪害による通行止被害や東日本大震災で各救護活動に対する問題は、道路の確保と聞きました。そこで161号マキノ町野口地先から敦賀市駄口地先までの間をトンネルにできないでしょうか。琵琶湖若狭湾快速鉄道の促進同盟会に対する市の考えを問います。

**答** 土木交通部長 トンネルは、避難道路等として有効な交通手段と考えますが、福井県との協議等を踏まえ国に要望することとなりますので、今後の財政事情もあり、今後の課題とさせていただきます。

**問** 放射線監視体制の強化と異常発生時の連絡、災害時の情報伝達の共有化について。

**答** 原子力発電所において異常があった場合に

**問** 5月末の梅雨台風は観測史上2番目の雨量で、一級河川が増水。総合治水が急がれます。石田川ダムで、流入量より放水量を増やした。防災連携の課題はどうだったか。

**答** 土木交通部長 石田川ダムが平常時最高水位に近づいたことに伴い、到達時間を調整するための操作を行うという県の通知を受け、下流区へ状況報告を行いました。

**問** 今津町蘭生地先で、石積み法面が崩壊。早期の護岸補強工事を。

**答** 早急な対応と工法等について管理者である県と協議を進めてまいります。

**問** この蘭生地先は河道改修計画にありませぬ。改修計画の検討を

**問** 市職員の現地派遣については、5月の連休に率先して参加した2名の職員に敬意を表し、ソフト面での応援体制を構築してください。大変貴重な研修であり資質向上につながります。

**答** 総務部長 職員の現地派遣は今後の防災対策を検討する上で有意義な研修でありますので、積極的に被災地の行政事務を応援してまいります。

**問** 市の防災計画の改訂が行われているのはなぜですか。システムの有効性の保障は。

**答** 地域防 災計画（原子力災害対策編）については、県とも連携しながら見直し作業を進めてまいります。



市職員の現地派遣の様子

**問** 今回の福島原発事故対応で国は一貫して事故を過小評価し、放射性物質の拡散予測など情報公開の遅れも批判されました。高島市は原発の隣接自治体であり、安全対策として専門的技術、装備を有する自衛隊特殊武器防護隊（伊丹）・化学武器防護隊（守山）の部隊の誘致を、滋賀県・福井県と共同で危機管理の立場から強く要望できないでしょうか。

**答** 政策部長 粘り強く要望してまいります

自衛隊誘致は簡単に

**問** 葉うものではありませんが、専門部隊が今津駐屯地に配置されることは市民の安心安全はもとより、原発立地の福井県にとっても望まれることであり、福井県等のお力もお借りして、国に粘り強く要望してまいります。

**問** 最近、福島原発被災地からレスキューされた多くの犬が4段階積みのゲージの中で暮らしています。敷地内の2棟の2階建て建物に被災ペットを多数飼育している頭数と現況について問います。

**答** 市民環境部長 6月8日に、滋賀県動物管理センターと市職員により、自己所有犬85頭・福島県から搬入された犬70頭の計155頭を確認しています。飼育状況については、滋賀県動物管理センターからの指摘事項はありませんでした。

**問** 災害時の緊急輸送に国道マキノ、敦賀の間にトンネル！琵琶湖若狭湾快速鉄道の早期実現について

**答** 石田 哲 議員 快速鉄道の実現化につきましては、事業主体の明確化や財源の見通し等の課題があり、さらに慎重に議論を重ねてまいります。



訓練で活躍する自衛隊

**陸上自衛隊特殊武器防護隊・化学武器防護隊の誘致を強く望む**

宮内 英明 議員

**問** 今年の雪害による通行止被害や東日本大震災で各救護活動に対する問題は、道路の確保と聞きました。そこで161号マキノ町野口地先から敦賀市駄口地先までの間をトンネルにできないでしょうか。琵琶湖若狭湾快速鉄道の促進同盟会に対する市の考えを問います。

**答** 土木交通部長 トンネルは、避難道路等として有効な交通手段と考えますが、福井県との協議等を踏まえ国に要望することとなりますので、今後の財政事情もあり、今後の課題とさせていただきます。

**問** 放射線監視体制の強化と異常発生時の連絡、災害時の情報伝達の共有化について。

**答** 原子力発電所において異常があった場合に

**問** 5月末の梅雨台風は観測史上2番目の雨量で、一級河川が増水。総合治水が急がれます。石田川ダムで、流入量より放水量を増やした。防災連携の課題はどうだったか。

**答** 土木交通部長 石田川ダムが平常時最高水位に近づいたことに伴い、到達時間を調整するための操作を行うという県の通知を受け、下流区へ状況報告を行いました。

**問** 今津町蘭生地先で、石積み法面が崩壊。早期の護岸補強工事を。

**答** 早急な対応と工法等について管理者である県と協議を進めてまいります。

**問** この蘭生地先は河道改修計画にありませぬ。改修計画の検討を

**問** 市職員の現地派遣については、5月の連休に率先して参加した2名の職員に敬意を表し、ソフト面での応援体制を構築してください。大変貴重な研修であり資質向上につながります。

**答** 総務部長 職員の現地派遣は今後の防災対策を検討する上で有意義な研修でありますので、積極的に被災地の行政事務を応援してまいります。

**問** 市の防災計画の改訂が行われているのはなぜですか。システムの有効性の保障は。

**答** 地域防 災計画（原子力災害対策編）については、県とも連携しながら見直し作業を進めてまいります。



観測史上2番目の雨量での被害

**観測2番目の増水。救済急げ 市の水防役割は充実したか**

森脇 徹 議員